

全工期無災害表彰授与式を行いました

店社名：鹿島建設株式会社 横浜支店

現場名：東高島・桜木町間（仮称）水際線デッキ新設その他工事

工期：令和4年4月18日～令和6年7月31日

工事概要：橋梁工事 3径間連続鋼床版箱桁 橋長 130.4m



この度、横浜北労働基準監督署において全工期無災害を達成した鹿島建設株式会社横浜支店 東高島・桜木町間（仮称）水際線デッキ新設その他工事への表彰授与式を行いました。受賞された現場代理人の戸簾昌俊さん（写真左）に、無災害達成の秘訣や安全管理に対する思いを伺いました。

Q1 全工期無災害を達成した感想をお聞かせください。

A1 関係者全員が安全意識を日々積み重ね、技能者の皆さんが安全に作業できた結果ですので大変うれしく思います。

Q2 安全管理で苦労した点は何ですか。

A2 昼夜作業体制となりましたので元請職員の配置による安全管理の不備がないよう気を付けました。職員全員で小さい事故の芽を摘み取りながら作業進めました。

Q3 特に力を入れた点や工夫した点はありますか。

A3 リスク対策を協力会社と事前に現地で打ち合わせ、手順会で確実に技能者に周知することを全工種で実施しました。手順に変更があれば現地で打ち合わせ、手順書に反映させ実施しました。

Q4 協力会社や作業員とのコミュニケーションで心掛けたことはありますか。

A4 一声かけ運動、現場内あいさつ「ご安全に」の励行、点呼や手順会などで会話しやすい環境づくりを実施しました。技能者からの意見を汲み取れるよう心掛けました。

Q5 無災害達成につながった一番の要因は何だと思われますか。

A5 社員、協力会社の皆さんが日々安全意識を高め、決められたルールを厳守した結果だと思っています。

Q6 安全に対する思いや今後の抱負をお願いします。

A6 鉄道工事は細かいルールや手順が数多くあります。それらのルールを当たり前に、バカにせず、ちゃんとやる、ことが無災害達成につながると考えています。日々安全意識を高め、ルールを確実に守る風土を作り上げていきたいと考えています。